

す く す く 通 信 第4号

「無洗米JAなす南栃木県産こしひかり新登場記念 田植え泥んこキャンペーン」に当選された皆様に、5月28日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！（田植え後110日目の様子です）



9月に入り、いよいよ収穫の季節！ 田んぼは日に日にその色を変え、早秋の風に吹かれ稲穂が揺れる様子は何とも趣深い情景です。成熟した稲穂はその身を垂らし、私たちに秋の訪れを知らせてくれます。

雨が多く、晴れ間がのぞく日は思ったよりも少なかった今年の夏。稲の品質に影響してしまうのではないかと少々不安でしたが、特段問題はなく出来は比較的良好とのことですよ♪



田植え体験をして頂いた田んぼは那須烏山市に位置し、中山間地域と呼ばれています。中山間地域とは、「平地から山間地にかけての、傾斜地が多い地域」のこと。農業において、平野と異なり大きな面積は確保できませんが、日中気温が上がり過ぎず一日の中で寒暖差もあります。真夏でも豊富な水に恵まれることもあり、県内の他の地域に比べ1等比率が高い（品質が良い）ことで知られています。



左上の写真をご覧ください。これは、コンバインという機械で稲を刈りトラックに積み込んでいる様子。「コンバイン」は稲刈りと脱穀（茎から籾を外す作業）を同時にできる万能な機械なのです！

最後に生産者様と記念撮影♪ 地域の魅力を活かし、誇りをもって取り組まれている姿が印象的でした。こだわりをもって作られた「とちぎ米」を、ぜひ一度ご賞味いただくと幸いです！